

就任のご挨拶

歴史と伝統があります新潟県議会第93代新潟県議会議長に就任させて頂きました尾身孝昭であります。

就任にあたりまして、先んずはこれまでご支援を頂きていきました私の選挙区であります十日町市・津南町はもとより、議員諸兄、そして泉田知事をはじめとする県庁職員の皆様に感謝と御礼を申し上げる次第であります。

私は、平成7年に県議会に当選させて頂きました。当選した頃は、バブルが崩壊し、日本経済が左肩下がりの状態でありました。正に失われた20年と言われた時代が続きましたが、今、我が国ではデフレからの脱却を確実なものにする為に、経済再生に向けて取り組みが続けられておりますが、本県経済情勢に目を向ければ、県内景気は緩やかに回復を続けているものの、個人消費がなかなか伸びないことから、多くの県民の皆様が景気の回復を実感するに至ってないと感じているところであります。

これからも経済の好循環に向けた取組により県内経済が上向き、景気の回復が堅調に推移していくよう、適時適切な施策の実施が求められております。また、農協改革は、日本農業の大きな転換点であり、農業県であります本県にとりましても、農家所得の向上はもちろん、地域農業の発展につながるものとしていかなければなりません。

県政課題といたしましては、教育の充実、災害に強い県土づくり、柏崎刈羽原発に代表されますエネルギー政策や環境問題など多くの政策課題がありますが、中でも喫緊の課題は地方創生、すなわち、人口減少問題であり少子化対策や地場産業の振興、雇用の場の確保、さらには地域医療、福祉の充実など、地域の存続と活性化に議会活動を通じて全力で取り組み、県民の期待に応えてまいります。

昨日、大阪都構想が住民投票で否決されましたが、地方自らが決断と責任を持って地方分権を進め、住民の負託に応えていくことが求められており、住民自治の根幹をなす地方議会の役割は、今までにも増して重要となっております。県民の皆様が享受できる公共の福祉の増進に資するためにも、議会活動の中で闊達な議論が行われますよう努めてまいります。

先般の統一地方選挙におきまして、議員各位、厳しい洗礼のもとに当選を果たされましたが、市町村議員の選挙とも、投票率が過去最低となるなど、議員一人ひとりには県民と身近な距離はあるのでありますが、議会組織となると県民の皆様や市町村の皆様には遠い存在に感じているのでしょうか。投票率向上に向けて投票所の問題など、具体的に投票に行ってもらえるような政策、対策をとらなければなりません。議員の皆様におかれましては、選挙期間中訴えてこられました事を大いにこの議会で議論して頂きたいと思っております。伝統ある県議会の議長といたしまして、議会運営が円滑に行われるよう、誠心誠意努めていく所存でございますので、県民の皆様方の一層の御支援と御協力をお願い申し上げ、就任の御挨拶とさせていただきます。